

長野県立大学  
後援会

# 会報

2021.9

Vol.5



# CONTENTS

## 表紙

- 1 再任のご挨拶 長野県立大学 後援会 会長  
完成年度を迎えて 公立大学法人長野県立大学 学長

- 2 Campus Topics ～新型コロナウイルス感染症を乗り越えるために～

### \*\*行事\*\*

- 令和3年度長野県立大学入学式
- 学生表彰

- 4 \*\*授業関連\*\*

- 「コロナ禍における授業方針の模索について」
- 「海外プログラムの現状」

- 5 \*\*学生の支援\*\*

- 「コロナ禍の学生支援」
- 「健康管理室より」

- 6 \*\*サークル活動紹介\*\*

- 将棋 devo ランティアサークル
- GAME/e スポーツサークル
- 競技かるたサークル もみぢ会

- 8 令和3年度長野県立大学後援会総会

- 令和3年度長野県立大学後援会総会の報告
- 令和3年度後援会役員のご紹介

## 裏表紙

### Information

- 古本募金キャンペーンのお知らせ
- 後援会事務局より

## 再任のご挨拶

長野県立大学後援会 会長

### 熊崎 達也

朝夕はだいぶ涼しさを感じる頃となりましたが、会員の皆様におかれましてはますますご健勝のことと存じます。また、日ごろは長野県立大学後援会にご理解、ご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

さて、昨年より猛威を振るっている新型コロナウイルスは、今年に入っても衰えることなく、私たちの生活に大きな影響を与えています。本学の学生の皆さんのキャンパスライフも、入学前に抱いていた夢や希望とは大きくかけ離れたものとなってしまったのではないのでしょうか。先日の定期総会のWEB回答においても、このような状況下での学生への支援のあり方について、多くのご意見をいただきました。昨年度は新入生歓迎バルーンアートやSEQ（大学生向けEQ行動特性検査）受講などへの助成を行いました。十分な活動支援ができない状況が続いています。今、後援会ができることを積極的に検討し、すすめていきたいと考えております。

今年度は長野県立大学として初めての卒業生を送り出す年でもあります。少しでも「この大学で学生生活を過ごせて良かった」と思えるような支援を行っていきたいと思います。

最後になりましたが、会員の皆様のますますのご発展とご健勝を祈念して挨拶とさせていただきます。



## 完成年度を迎えて

公立大学法人長野県立大学 学長

### 金田一 真澄

いつも長野県立大学に対し、格別のご支援を賜りまして、深く感謝申し上げます。

本学は、開学から4年目を迎え、全学年が揃った記念すべき年となりました。4年生は、本学初めての就活になりますが、順調な成果を上げていますと聞いています。3年生は、昨年海外プログラムの研修に行くことができず、今年オンラインでの参加となりましたが、海外の協定校がプログラムを工夫して下さり、満足度の高いものになったと思います。2年生と1年生の海外プログラムについては、まだ予定が決まらない状況にあります。

コロナ禍の中、長野保健医療大学にお願いして、本学の学生、教職員、関係者の希望者全員が、7・8月に2回のワクチン接種を受けることができました。職域接種は大学が社会に対する責任を果たすことにつながる重要なことであり、長野保健医療大学には深く感謝しております。

日々難しい舵取りを迫られておりますが、本学の教員はコロナ禍にめげず、最良の教育を目指し、学生も自分たちで将来への道を切り拓いていこうという気概と大きな夢を持った素晴らしい学生たちです。

今後とも一層のご支援、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



# Campus Topics ~新型コロナウイルス感染症を乗り越えるために~

大学では、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に様々な部署で取り組んでおります。その様子や学生達の様子をお伝えします。

## \*\*\*\*\* 行 事 \*\*\*\*\*

### ●令和3年度長野県立大学入学式

今年度の入学式は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点などから、何度も検討を重ねました。周囲の状況が変化中、新入生には2週間の健康観察期間を求め、本学講堂で4月17日(土)に行いました。式は新入生のみ参加で、時間短縮のプログラムとしました。また、来場できない皆様にはご自宅等でご覧いただけるよう、会場の模様をYouTubeでライブ配信しました。来賓及び教職員の人数は最小限とし、学生には座席を指定し、一席ずつ空けて着席をお願いしました。

今までにない入学式となりましたが、本学で挙行できたことを安堵しております。

本来であれば、閉式後は、皆様に学内を見学してほしいところでしたが、密にならないよう速やかな退館にご協力いただきました。



全員がマスクをつけて参加  
(上) 長野県知事祝辞  
(左) 学長式辞  
(下) 学生の様子  
昨年度、改修工事が終わり、  
リニューアルした講堂内座席



※入学式の動画は「長野県立大学YouTube公式チャンネル」でご覧いただけます。



## ● 学生表彰

令和2年度における優秀な成績を修めた学生が表彰されました。学長表彰は6月14日（月）に、学部長表彰は、6月中に各学部、学科ごとに賞状の授与を行いました。

### 学長賞 (50音順)

#### グローバルマネジメント学部 グローバルマネジメント学科

- 〈2年生〉池田 百花・前川 素絵  
〈3年生〉小宮 青空・祢津 里紗子  
〈4年生〉門脇 大真・宮嶋 桃子



#### 健康発達学部 食健康学科

- 〈2年生〉平田 朱音  
〈3年生〉伊藤 柚美佳  
〈4年生〉酒井 梨恩

#### 健康発達学部 こども学科

- 〈2年生〉秋山 千奈  
〈3年生〉竹内 華  
〈4年生〉小林 音羽



←実習のため、別日に賞状が授与されました

### 学部長賞 (50音順)

#### グローバルマネジメント学部 グローバルマネジメント学科

- 〈2年生〉飯野 愛梨・大野 真歩・小口 紗季・上條 将輝・唐澤 拓実・菊地 美希・佐賀 涼輔  
滝澤 舞花・西坂 奈津実・松島 帆・森 ののか・割田 千尋・NG YIU YEUNG MAX  
〈3年生〉飯田 菜月・伊藤 琢真・遠藤 亜依・久保田 花音・小瀧 爽一郎・笹原 舞夏・田幸 美月  
中西 一輝・堀 愛美・宮嶋 楓茄・吉川 遼・吉田 未来・若林 亮治・涌井 瑞樹  
〈4年生〉天野 友葉・家崎 亜美・岩田 汐織・宇田 詠美・沖田 佑菜・柏原 純花・勝山 由莉愛  
神林 恵里・久保田 真輝・佐藤 仁哉・篠遠 七愛・田中 葵・西山 結・八田 玲奈  
林 汰一・平澤 佑汰・深澤 果歩・福山 貫太・藤田 沙也・北條 真愛・牧田 侑樹  
宮原 杏奈・山口 あいり・山口 朝香・山下 紗輝・米山 彩未

#### 健康発達学部 食健康学科

- 〈2年生〉小澤 奈々・越野 郁未・榊原 りん・若槻 美雪  
〈3年生〉井口 由佳子・村田 ちひろ・湯本 さつき  
〈4年生〉北島 遥果・静野 天音・那須野 清夏・林 杏香・目原 詩由・山口 未央

#### 健康発達学部 こども学科

- 〈2年生〉井上 愛理・小柳 日向子・中山 愛梨・眞島 奈留美・宮坂 彩奈・吉越 愛理  
〈3年生〉北島 智花・田辺 彩花・元田 彩葉・山崎 舞  
〈4年生〉岡沢 優花・篠原 愛美・武田 恵実・仲丸 美桜・村上 紗世

## ● 「コロナ禍における授業方針の模索について」

教務委員長 谷口 真由実

新型コロナウイルス感染症は本学にも大きな影響を与え、昨年3月末、急遽対策を迫られました。大学の学生、教職員の安全、健康を守りつつ、大学の使命である教育、学問研究をいかにして止めないで進展させるのか、との危機感をもとに本学の新型コロナウイルス感染症対策本部会議を中心に、真剣な検討が進められました。

熟議を経て、昨年度1・2学期はほぼ全面オンライン授業となりました。今振り返ってみますと、4月のほぼ一か月で、オンライン授業（主にzoom）という本学初めての授業形態の導入を決め、学生・教職員ともども急遽オンライン授業の環境を整備し、5月初めに開講に漕ぎつけられましたのは、一重に学生、そして教職員の絶え間ない努力と協力・熱意があったからであると思われます。その後も教員・学生が共に更なる授業の質向上のために、試行錯誤を重ねながら邁進して来た日々でした。

昨年度3学期からは対面授業を再開し、対面授業とオンライン授業との併用で授業が実施され、今日に至っています。教員も学生もオンライン授業に習熟し、授業の質も対面授業と遜色ない豊かな内容が達成されているように思われますが、対面授業の優位な点は逆に明らかになってきているようです。教員と学生が直接顔を合わせることで、お互いの細かな表情・心情を知り、信頼感を醸成することができ、結果的に授業内容の理解を深め、学業へのモチベーションを高める面があることは否めません。



対面（黄）とオンライン（青）併用の時間割表

教員と学生、また学生間で、共に学問し研究する場、また交流を育む場を守る重要さを、コロナ禍の試練を経て痛切に感じないではいられません。コロナ禍の終息はまだ見通せない状況ですが、更に授業を充実させられるよう教職員と学生とが協力して工夫・努力してゆく必要があると存じます。後援会員の皆様方には今後ともどうぞ一層のご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

## ● 「海外プログラムの現状」

グローバルセンター長 志村 昌昭

海外プログラムは本学のカリキュラムにおいて大変重要であり、これを楽しみに入学してきた学生も大勢います。しかし新型コロナウイルス感染症の拡大により、本学は2020年度以降学生を海外に派遣できておりません。代替策として2期生（現3年生）は、オンライン研修を実施いたしました（食健康学科は2021年3月に実施。グローバルマネジメント学科とこども学科は2021年6～9月に実施）。

当初、海外渡航が叶わなかった事への悔しさや、オンライン研修への不安を抱いていた学生もいましたが、海外研修先大学や担当教員の指導の下、オンラインでも十分に力を付けられる内容の研修を

しております。

すでに研修を終えた食健康学科の学生からは「オンラインでも現地の方と交流ができて良かった。」「実際に海外に行けなくても海外プログラムに参加する価値は十分にあると思った。」「楽しもうとする気持ちが大切だと思った。」というような感想がありました。

新型コロナウイルス感染症の終息見通しは依然立ちませんが、3期生（現2年生）、4期生（現1年生）については、2022年度の海外派遣を見据えて準備を進めております。



食健康学科オンライン研修の様子  
(ニュージーランドと2021年3月に実施)

## \*\*\*\*\* 学生の支援 \*\*\*\*\*

### ● 「コロナ禍の学生支援」

学生支援委員長 宮崎 紀枝

大学時代は、学びを深め、生涯の親友との出会い、恋愛や失恋の経験、やりたい仕事を見つけ、人生や未来を考える「よく学び、よく遊べ」という生活を謳歌する時期であろう。それが、世界的な感染症の流行で、これほど日常が制限されるとは思ってもみなかったはずである。



先輩学生による新入生向け相談会

学生支援委員会では、学生の悩みに対する相談体制を充実させた。年2回のメンタルヘルススクリーニングの実施、個別相談、セルフチェックの周知、新入生や新学期のための相談、教職員に向けた学生対応の依頼、若者向けのゲートキーパー養成講座の開催（長野市連携事業）等、学生サポートセンターを中心に実施した。

また、少しでもサークル活動が実施できるように、学生の感染防止計画作成を支援し、感染状況に合わせて活動できるように環境を整えた。学生も、自らの大学生活を楽しめる提案を積極的に考え、感染状況が落ち着いている時には、屋外で学園祭の代わりとなる学生交流会「FUN MINI」を実施した。

コロナ禍で、制限される日常は多いが、学生相談体制の促進、学生の創造力の育成につながっていることも事実である。学生と教職員が協力して大学生活の充実をはかりながらコロナ禍を乗り越えていきたい。



ゲートキーパー養成講座の様子

## ●「健康管理室より」

保健師 久保田 澄枝



学生の皆さんの食生活で気になることがいくつかあります。1つは野菜不足になりがちなこと。使い慣れた野菜しか買わない、緑黄色野菜が少ない、そもそも野菜の摂取量が少ないという状況がよく見られます。

2つ目はたんぱく質が不足しがちなこと。空腹を満たすために主食は食べても、肉や魚等のたんぱく源になる食品が不足している方が多いようです。

それぞれが生活費の節約も考えながら日々工夫しながら過ごされています。身体づくりや生活習慣の基礎を身に付ける大切な時期ですのでご家庭からも支援をお願いします。

また、新しい生活環境や人間関係等により緊張が続き、眠れない・気が出ない・何となく不安など心身の不調に関する相談のため来室される学生さんも多くなっています。カウンセラーや保健師が相談をお受けしていますが、ご家庭内でお気づきの点などありましたら、早目の相談をお勧めいただくようにお願いします。ご家族からのご相談にも対応させていただきます。

## \*\*\*\*\* サークル活動紹介 \*\*\*\*\*

新型コロナウイルス感染症の拡大は、学生の課外活動等にも大きな影響が出ています。サークル活動が原則活動禁止（オンライン活動は可）の期間が長引く中、感染拡大防止計画書を提出したサークルには感染リスクの低い活動に限って再開を認め、少しでも学生同士の交流ができるようにしています。オンラインで活動しているサークルの様子をご紹介します。

（サークル活動には後援会より補助をいただいています）

## ●将棋devoランティアサークル

サークル長 唐澤 伸次

将棋devoランティアでは将棋アプリと通話アプリを用いてオンライン活動を行っています。オンライン活動をしていく中でメリット、デメリットの双方が分かってきました。メリットとして自分の好きな場所で気軽に参加することができるという事が挙げられます。オンライン講義が多いのでわざわざ学校に行かなくて良いのは便利です。

一方で、対面で一度も会ったことがない人がいたりするので部員同士の関係を深めるのが困難であるという現状もあります。アフターコロナでは



地域の方から将棋盤をいただいた時の写真

将棋で地域活性化を目指した活動をしたいです。

大学では色々なつながりを持っては思っていました、その機会の多くは無くなりました。それでも少しでもその機会を増やせるようにサークル活動をより最適なものにしていきたいです。

## ●GAME/ eスポーツサークル

サークル長 山本 勇気

私達のサークルの特徴は、ゲームをプレイして交流を深めるということであり、ゲーム自体は遠隔でも各自室からプレイできるということです。コロナ禍においてはこの点が優位に働き、直接会えなくても、通話で会話をしながらゲームを楽しむことができました。オンラインなので声だけで



参加することができ、顔を合わせて話すことが多少苦手でも、気軽に活動することができます。一方で、やはり対面での

実施だとより仲も深めやすいとも痛感しています。今後、コロナが終息したらボードゲームカフェ等の場所をお借りして、対面でのゲーム交流を楽しみたいです。一日でも早く対面での活動が復活し、新入生等も含めて沢山のひととゲームで繋がりたいです。



## ●競技かるたサークル もみぢ会

サークル長 山田 怜奈



競技カルタの様子

現在のコロナ禍において競技かるたサークルは活動できていません。競技かるたが対面で行われる試合であり瞬間的な音のラグが有利不利につながるため、オンラインでの活動は難しいからです。オンラインで活動ができないというデメリットは大きいですが、各々が有名選手の試合動画を観たり札の暗記などをしたりすることで、自身のスキルを磨いています。今思うことは、長らく活動ができない状況で、多くのかるた競技者がかるたに対するモチベーションが下がらないか心配であるということです。コロナが終息したら試合や大会への参加や、競技かるたを広めるイベントなどをしたいです。

# 令和3年度長野県立大学後援会総会

## ●令和3年度長野県立大学後援会総会の報告

令和3年度の後援会総会は、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症防止のため、WEB表決での開催となりました。多くの会員の皆様にご参加いただき、ありがとうございました。

- 第1号議案 令和2年度長野県立大学後援会事業報告（案）
  - 第2号議案 令和2年度長野県立大学後援会収支決算書（案）及び監査報告
  - 第3号議案 令和3年度長野県立大学後援会事業報告（案）
  - 第4号議案 令和3年度長野県立大学後援会収支予算書（案）
  - 第5号議案 令和3年度役員を選出
- 以上の議案がすべて承認されました

### 令和2年度長野県立大学後援会事業報告

事業	実施時期	内容
会議費	6月21日（日）	後援会総会・理事会費用
事務費	5月～3月	後援会費振込依頼書作成 総会案内・会報郵送・返信用切手代等
広報費	9月・3月	後援会会報第3号・第4号印刷代
サークル活動助成費	7月～3月	9団体へ活動費助成（公認サークル48団体）
ボランティア活動助成金	7月～3月	活動場所までの交通費を助成
学園祭時助成費	10月24日（土）・25日（日）	学園祭実行委員会への学園祭代替え行事「学生の交流会」への助成
その他自主活動助成費		コロナ禍による活動制限のため支出を伴う該当事業無し
寮生交流活動助成費		コロナ禍による活動制限のため支出を伴う該当事業無し
寮祭助成費		コロナ禍による活動制限のため支出を伴う該当事業無し
SEQ受講費	5月・1月	年2回受講（対象：1年生）
キャリアアップ助成金		コロナ禍による活動制限のため支出を伴う該当事業無し
福利厚生備品助成費	4月～3月	信濃毎日新聞・市民新聞購読料（寮）

### 令和2年度長野県立大学後援会収支決算書

収入決算額 16,688,810円  
 支出決算額 2,138,136円  
 差引残額 14,550,674円（次年度へ繰越）

#### ◎収入の部

（単位：円）

項目	本年度予算額(A)	本年度決算額(B)	差引増減(B-A)	備考
会費	9,760,000	8,400,000	△ 1,360,000	40,000×210人分
繰越金	8,288,675	8,288,675		
諸収入	325	135	△ 190	預金利息
計	18,049,000	16,688,810	△ 1,360,190	

#### ◎支出の部

（単位：円）

項目	本年度予算額(A)	本年度決算額(B)	差引増減(A-B)	備考
総務費	820,000	823,735	△ 3,735	
会議費	20,000	19,474	526	総会・理事会
事務費	400,000	486,141	△ 86,141	入学バルーンアート、郵送切手代等
広報費	400,000	318,120	81,880	会報3号・4号発行
事業費	11,250,000	1,314,401	9,935,599	
学生自主活動促進費	5,950,000	304,311	5,645,689	
サークル活動助成費	3,000,000	206,820	2,793,180	48団体中、9団体へ活動助成
学生会活動助成費	200,000	0	200,000	コロナ禍による活動制限のため該当活動無し
ボランティア活動助成費	250,000	31,500	218,500	サービスマーケティング参加交通費等（7名）
学園祭時助成費	2,000,000	65,991	1,934,009	実行委員会へ助成（学園祭代替え行事学生交流会へ）
その他自主活動助成費	500,000	0	500,000	コロナ禍による活動制限のため該当活動無し
学生寮活動促進費	2,300,000	959,330	1,340,670	
寮生交流活動援助費	500,000	0	500,000	コロナ禍による活動制限のため該当活動無し
寮祭助成費	500,000	0	500,000	コロナ禍による活動制限のため該当活動無し
SEQ受講費	1,300,000	959,330	340,670	受講（5月・1月）
キャリアアップ助成費	1,000,000	0	1,000,000	コロナ禍による活動制限のため該当活動無し
福利厚生備品助成費	2,000,000	50,760	1,949,240	新聞2紙（寮）
予備費	5,979,000	0	5,979,000	
総計	18,049,000	2,138,136	15,910,864	

## ●令和3年度後援会役員のご紹介（カッコ内は学生の所属学科）

会長 熊崎 達也（グローバルマネジメント）  
 副会長 齋藤 儀信（グローバルマネジメント）  
 理事 宮尾 千春（グローバルマネジメント）  
 理事 池田 信江（こども）  
 監事 宮原 敦子（グローバルマネジメント）  
 監事 谷口 由美（食健康）



### 令和3年度長野県立大学後援会事業計画

事業	実施時期	内容
会議費	6月26日（土）	後援会理事会費用
事務費	6月～3月	後援会費振込依頼書作成・郵送等
広報費	9月・3月	後援会会報年2回発行
サークル活動助成費	～3月	各団体へ活動費助成（公認サークル52団体）
学生会活動助成金	～3月	研修費、外部講師招集
ボランティア活動助成費	～3月	活動場所までの交通費を助成
学園祭助成費	10月23日（土）・24日（日）	学園祭実行委員会へ助成
寮生交流活動助成費		1年生対象にコロナ禍で実施できる活動に助成
SEQ受講費	5月・1月	年2回受講（対象：1年生）
キャリアアップ助成費	～3月	キャリア形成支援
福利厚生備品助成費	～3月	信濃毎日新聞・市民新聞購読料（寮）
	～3月	寮生活備品購入
卒業生記念品	3月	第一期生卒業に係る記念品

### 令和3年度長野県立大学後援会収支予算書

収入総額 22,327,000円  
 支出総額 22,327,000円

#### ◎収入の部

（単位：円）

項目	本年度予算額(A)	前年度予算額(B)	差引増減(A-B)	備考
会費	7,776,000	9,760,000	△1,984,000	40,000×243人分×0.8
繰越金	14,550,674	8,288,675	6,261,999	
諸収入	326	325	1	預金利息
計	22,327,000	18,049,000	4,278,000	

#### ◎支出の部

（単位：円）

項目	本年度予算額(A)	前年度予算額(B)	差引増減(A-B)	備考
総務費	820,000	820,000	0	
会議費	20,000	20,000	0	理事会
事務費	400,000	400,000	0	封筒、郵送切手、コピー用紙
広報費	400,000	400,000	0	会報2回（9月・3月）
事業費	9,750,000	11,250,000	△1,500,000	
学生自主活動促進費	5,450,000	5,950,000	△500,000	
サークル活動助成費	2,500,000	3,000,000	△500,000	52団体へ活動助成
学生会活動助成費	200,000	200,000	0	
ボランティア活動助成費	250,000	250,000	0	サービスラーニング参加交通費
学園祭助成費	2,000,000	2,000,000	0	
その他自主活動助成費	500,000	500,000	0	
学生寮活動促進費	2,000,000	2,300,000	△300,000	※1年生対象とする
寮生交流活動助成費	500,000	500,000	0	
寮祭助成費	500,000	500,000	0	
SEQ受講費	1,000,000	1,300,000	△300,000	昨年度の実績より算出
キャリアアップ助成費	650,000	1,000,000	△350,000	各種ガイダンス
福利厚生備品助成費	650,000	2,000,000	△1,350,000	
卒業生記念品	1,000,000	0	1,000,000	卒業記念品代 @4,000×約250人
予備費	11,757,000	5,979,000	5,778,000	
総計	22,327,000	18,049,000	4,278,000	

# Information

## ●古本募金キャンペーンのお知らせ

長野県立大学では株式会社バリューブックス様との提携により、本による寄付「古本募金」を受付けております。長野県立大学古本募金とは、皆様から書籍やDVDをお送りいただき、その買取（査定）金額が長野県立大学に寄付される仕組みです。頂戴しましたご寄付は学生の教育・研究充実のため、英語書籍や専門書籍の購入に充てられます。2021年3月の時点で累計53,182円のご寄付をいただき、英語の電子書籍2冊を購入させていただいております。

この度、株式会社バリューブックス様のご協力により、買取金額10%アップのキャンペーンを実施することとなりました。お手元でご不要になった書籍やDVD、CD、ゲームなどがございましたら、下記キャンペーン期間にぜひご寄付をお願いいたします。

### キャンペーン期間：2021年11月1日（月）～11月30日（火）

※スマホの方は、右のQRコードを読み込むと、直接、長野県立大学古本募金のウェブページに進めます。

※PCの方は「長野県立大学古本募金」で検索いただくと便利です。

※詳細はウェブページ又はチラシをご覧ください。



上記のほか、長野県立大学では充実した教育・研究、きめ細やかな学生支援を行うために、通常の寄付も募集しております。ぜひ次世代を担う学生に温かいご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

## ●後援会事務局より

昨年度よりコロナ禍の学生生活は、学生も保護者の方も大きな不安・負担が伴い、心身共に疲れが蓄積する日々を過ごされていると思います。皆様のご負担が少しでも軽くなりますよう、学費あるいは授業について等、ご不明な点、ご相談は下記までお問い合わせください。また、後援会事業に関するご質問等も下記までお知らせください。

★授業に関すること

学生サポートセンター教務係

kyomu@u-nagano.ac.jp

★学生生活・学費等に関すること

学生サポートセンター学生支援係

gakusei@u-nagano.ac.jp

★後援会に関すること

学生サポートセンター学生支援係

gakusei@u-nagano.ac.jp

## 長野県立大学 後援会

〒380-8525 長野県長野市三輪8丁目49番地7号

電話：026-217-5082 FAX：026-235-0026

<https://www.u-nagano.ac.jp/for-family/supporters/>

## 後援会ホームページのご案内

後援会の主な事業や会報のバックナンバーをご覧いただけます。

長野県立大学後援会

検索

